

いづな

題字／深田明弘

No.90
2020.10.31



9月19日 倉井神社秋季例大祭宵の宮での獅子舞奉納 代表地区倉井川北
(コロナ禍の状況を把握し、方法を検討して伝統を守る)

photo 西村 啓大、飯田 安彦

特集

共に繋ごう、考えよう!

主な掲載記事

- 共に繋ごう、考えよう! 2~5
- おじゃまします・あっちこっちこの町 6
- いづな時空散歩・ど〜こだ!? 7
- 飯綱歴史ヒストリア・スポーツ協会など 8~10
- アルバムからこんにちは・さんぽ道 11
- はぐくむ 12



小林さんはじめ皆さんの協力を得た、数多くの蔵書を背にお話を伺いました。

共に繋ごう、考えよう!

「美しい田舎」の風景を当たり前に見ている町民。

その風景に魅力を感じている移住者や観光客。

両者が交流することで、より良いものを生み出そうとしている人たちがいます。

今回は、旧三水第二小学校に新設された「いづなコネクT EAST（イースト）」を訪ねました。

令和2年7月、株カシマツ
せいびなが運営するいいづ
なコネクトEAST（イース
ト）が旧三水第二小学校で
オープンしました。そこで働
く管理者の佐久間崇さんと
ブックラウンジを担当してい
る小林浩道さんは、社名の通
り、何かをかんまそうとして
いるようです。

飯綱町に移住してきたばか
りの佐久間さんと、生まれた
ときから飯綱町民の小林さん
どんなお話が聞けるでしょ
うか？

移住をしたきっかけは？

佐久間 6〜7年前から家内
の実家に通うようになって、
よこ亭からの飯綱町を見渡せ
る景色を見ているうちに飯綱
町に住みたいと思うようにな
りました。ログハウスに住み
たかったので、東高原で物件
を探しました。

移住を考えたときは廃校活
用に携わらせていただくこと
になるとは思いもしません
でした。自然豊かな飯綱町で働
きたい、できれば地元の社会
活動に繋がる何かがしたいと
考えてネットを見ていたら、

ツクラ住建の社長が事業の
紹介をしていて、これは！と
思いました。廃校活用にも興
味があったので、関わらせて
いただきたいと思います。

佐久間さんは仙台市出身。
東日本大震災を経験し復興事
業に携わってきたが、安全基
準を満たさないという理由だ
けで、千年も続いたような昔
の農道や施設が失われていく
現場を目の当たりにした。そ
の地域にもともとあった物を
残す方向の活動ができないも
のかと考えていたという。

佐久間 震災などで見慣れた
光景が見られなくなった、い
つでも会えると思っていた人
に会えなくなったという経験
があります。僕は牟礼西小学
校も三水第二小学校も母校で
はないし、ゆかりもないんで
すけど、残したいという強い
思いを持ちながら施設作りを
したいって思っています。

それと同じくらい、そこに
関わる方々との出会いや思い、
考え方を大事にしたいと考え
ています。

イーストって どんなところ？

佐久間 僕のアイディアでど
うするということよりも、町民の
方々が、この建物をどう活用
したいと思っているのかとい
うことを基本としています。

この地域の方々と一緒に作
り上げていくというのが大事
だと思っています。町外から
お客さんが来ても、地元の方
が置いてけぼりになったら良
くない。まずは町民の方々が
行き来するような場所にして、
その中で三水第二小学校の色
を生かした施設にして、他の
方々がそれを魅力と感じて
寄ってきてくれる施設にした
いなと思っています。一番い
いのは、ここで町民と観光客
の交流が生まれること。交流
やお話ができる場所が増える
と、町民の生きる活力、気力
が増えてくるのかなって考え
ています。

小林 旧三水第二小学校は赤
東地区にとつて、とても大事
なシンボルであり、抛り所
でした。『学べる場所』というの
は崩したくない。何かしら足
を運べる機会が作れるような

施設にしてほしい』っていう
のは皆あると思います。

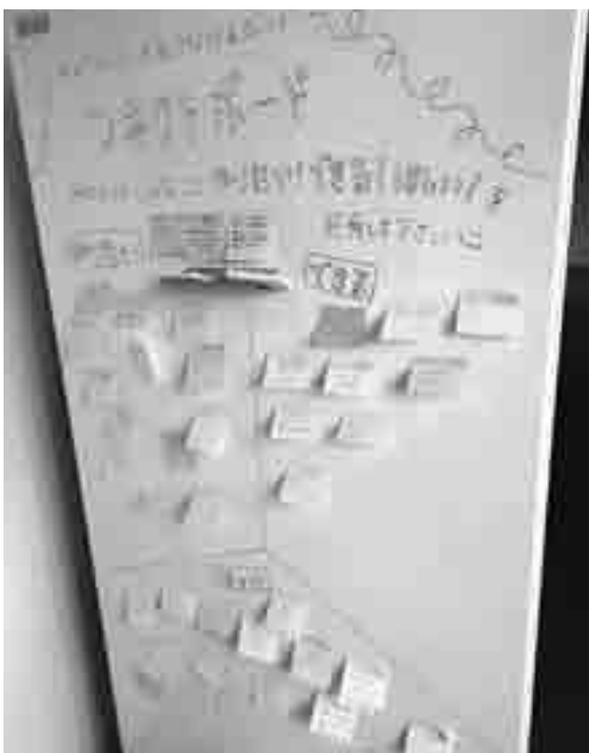
イーストには、いいづな
フューチャースクールという
学び場がある。『未来の学校』
という設定で、将来的に仕事
や資格、趣味に繋がることを
学べる。図工室をリフォーム
してワークラボと名付け、講
義やセミナーをしたり、動画
を撮って配信したりしている。

2階のブックラウンジには
たくさん漫画が並べられて
いる。新しい漫画は地域の方
から寄付をしていた物だ
が、古くてマニアックな漫
画は小林浩道さんが子ども

頃に購入し、大切に保管を
していた私物。手塚治虫や石ノ
森章太郎など、昔の子ども
たちが夢中になった漫画が揃っ
ている。

小林 漫画からは善も悪も、
生も死も、物事の裏側も、色
んなことを学べると思ってい
ます。漫画っていうのは一番
いい教科書なんですよ。

閉校になるときに、子ども
たちがここに足を運ばなくな
るのが一番心配でした。地域
の人たちも『もったいないよ
ね』『子どもが可哀想だな』
と言います。子どもたちが気
兼ねなく足を運べるような



みんなのやりたい!できる!ほしい!をコネクトしよう!

『たまり場みたいなどころがほしいな』っていうのがありました。

子育て支援をできる人たちが絵本を読み聞かせしたり、ここで休んでいく人たちもいたり。公園がないから、人が集まれる場所が必要かなって思っています。

お爺さんお婆さん、お父さんお母さんにも集まってほしいけれど、やはり子どもが集う場所にしたいと話すお二人のアイデアが飛び出していた。

「来年ここにパワリハができるから、子どもはブックラウンジに来て、お爺ちゃんお婆ちゃんはパワリハやって、お母さんは喫茶店でお茶をして、お父さんはシールドルを買って、帰りは一緒に帰るとかね」

「ヤギを校庭で飼いたい。子どもたちと一緒に小屋とか柵とか作ったりね」

「この前、お婆ちゃんと話をしていたら、銀行のATMを作れば人が集まるよって言われた」

「校舎に大きな布を垂らして映画を観る。続けたいよね」

ね。

でもここで、目先の便利なものや簡単なもの、華やかなものを急いで作ってしまうと、他所にある一般的な施設と変わらなくなる。町民の皆さんがやりたいことやほしいもの、足りないと思っていることを見つけて、どうやったら形にできるのかを一緒に考えて、どれとどれを繋げれば更に良くなるのかを考えていくのが僕の仕事だと思っています。

町民の皆さんに話を聞き始めたのは4ヶ月前から。何年も前から住んでいらつしやる方々のニーズを捉えるには時間が短すぎます。まずは、その表層に出てくる情報や問題点をたくさん聞いて、その中で課題を見つけて、そこに刺さるような施策が打てればいいなと思っています。

この旧校舎は、向こう何年何十年と使い続ける施設だと思っています。本当に町民の方々の満足を繋がるのか、外から来る人にも魅力を感じてもらえるのかを視野に入れながら、共に考えて共に作っていきたいです。

昔から赤東地区に住んでいる小林さんにとつて、赤東地区らしさを聞いてみた。

小林 それぞれ地区ごとに氣質とか違っているけれども、いざ何かかっていうときにはすぐ一つになれるっていう感じですよ。『他の地区より自分の地区』っていうのはやっぱり強いですよ、皆さんね。だけど旧三水第二小学校を基として集まろうって言ったときには、決まればすごい団結力っていうか、物事が早く進む、成功に導いていくし。それぞれの地元愛が強い。強くなりすぎて問題ですけど、そういうところがあるかと思います。

長い間、運動会とかを地域全体でやっていたからね。エネルギーが濃く集まる場所がなくなるといのは寂しいです。だから子どもが大事です。子どもが元気良ければそれに引っ張られて『じゃ、やるか』って。そういった子どもたちのたまり場になる場所は、やっぱり学校だなんて思っています。





美味しいコーヒーとともに、この風景を味わいましょう。

いていたけれども、都会の子どもたちはそういうのが見えない環境になってきているのかなって感じています。イーストに来てくれる子どもたちのパワーやエネルギーはすごい！セミの抜け殻を捕ったり、虫に詳しい女の子がいたり、いろいろ教えてくれる「情報屋」さんがいたり。そういういいところがいっぱいあるんです！

他所から来る移住者や旅行者は、飯綱町で先代から暮らす町民たちに魅力を感じているようだ。町民との関わりの中で得た大切な気持ちを旅行者にも感じてもらえるように、イーストでの学びを作り出すうとしてくれるのかもしれない。

最後に、ここから見える風景について語ってくれた。

佐久間 イースト1階にある

大きな窓から見える景色。初めてこの建物に入ったとき、びっくりしたんですよ。『こんな素晴らしい景色を見て、子どもたちは給食を食べていたのか！』って。ちょうど喫茶店にいらしていたお婆ちゃん

たちに『ここ、綺麗だね』って話しかけたら、お婆ちゃんたちは『ねー！綺麗にしてもらえて良かった』って建物のことを言うんです。彼女たちからすれば、この風景は慣れているから何がいいんだか分からない。私が説明しても『はあー』『変わった人がいるもんだー』って。だからその風景の魅力を、地元の人たちに伝えたいんです。ここは良い所なんだって気持ちをもち続けていきたい。毎日が魅力的なことばかりですよ。

この地に長く住み続けた者からすれば見慣れた風景：『日常』なのかもしれません。しかし、佐久間さんはそこに輝きを見出しました。三水第二小学校も見慣れた『日常』だったはず。子どもたちがいなくなってしまう『日常』に再び輝きを取り戻すため、佐久間さん、小林さんは「かんまして」くれています。私たち町民も、子どもたちや旅行者と共に「日常の生活こそが飯綱町のいいところだ」ということを「かんまして」いけるように、みんなで応援しようじゃありませんか。

他所から来ると、この地域にある何とも言い難い「良さ」があることに気付く。飯綱町に移住されて、小林さんや町民と交流を持つことによって受け止めたこの地域の「良さ」を、佐久間さんに聞いてみた。

佐久間 ほぼ毎日、小さなことから大きいことまで感じています。通勤してくるときに見える風景に毎日毎日「わー！」って感動することだったり、第一スパーへちよつと寄ったときに店員さんや知り合いの方に声を掛けていた

だけることだったり。あとは、イーストの周辺を散歩していたときに、最初は目を合わせていただけなかったり、あるいは「怪しい奴が来た」みたいな感じで「どこの誰に用事があるんだ？」っていうのもあったりしたのですけれど、顔見知りになって、顔を上げて話をしてくれたときに目が合っ「ほお」って関心を示してくれる表情をしてくれたり。

確かに、見知らぬ人が歩いていることはめつたにないの

で、最初は警戒するけれども、顔なじみになってしまえば挨拶し、受け入れてくれる。そして惜しみなく協力をしてくれる。さらに小学生との交流を話してくれた。

佐久間 ここに来る小学生

たちがみんな本当に純粹です。都会の小学生は画一的に見えてしまうんですよ。目標を与えられすぎているっていうか、習い事だとか、そっちばかりに行つて。木の下には何が落ちているのだろうか？など、私が子どもの頃は気付

おじゃま
しまあ

三水小にヤギ来たる!!

三水小2年生と石掛元^{もと}気先生(普光寺)



山下さんちからやって来たキャンディちゃん

10月1日、三水小学校にヤギがやって来ました。カフエ博之丞(倉井)の「めー」の子ヤギ「キャンディ」です。2年生(男子17女子11)の児童の皆さんが、準備に準備を重ねて迎えてくれました。地域探検で地域のヤギ飼いのお宅におじゃまして触れ合ったり、乗物遠足で須坂動物園に行つて飼育員さんから生感を行つたり、保護者の方々に協力いただいて柵を作ったり、子どもたちが自主的に看板、エサ箱、遊具を作ったり。ヤギを飼おうと目指したときから、いろいろな方々との繋がりや子どもたちの生き活きとした活動へと発展しました。ヤギを飼うことになったいきさつを、担任の石掛元気先生にお伺いしました。

「4月、「コロナで学校に来れない日が続きました。子どもたちが学校に戻ってきたとき、学校に登校する楽しみがあったらいいなあと思つていました。飯綱の自然の中で何か生きものを飼いたいと思つたとき、飯綱ではヤギの存在が身近にあつて、意外と飼いやすいことも知りました。村松さんちで子どもたちが初めてヤギに触れたとき『あつたかい』『かわいい』といった声が自然に上がりました。これが生きものに触れるつてことだなあと嬉しくなりました。子どもたちから『飼いたい!!』と言い出しました。いい意味で子どもらしくて素直、やりたいことをやりたくて、言えて前向きに取り組める子どもたちです。山下(カフエ博之丞)さんから『飼つてみ



2年生の皆さんの歓迎にキャンディも大満足。無事新居に落ち着きました。

る?』と声をかけていただきたいことで実現する運びになりました。本物に触れることで命を感じ、命の大切さを知り、ひいては人の痛みを感じる優しい人になつてほしいです」

キャンディは、冬には赤ちゃんを産むための準備をするので山下さんちに帰ります。それまでのお世話の日々は、子どもたちの心の栄養となる貴重な生の体験であつたと思います。これからもいろいろな経験を通して、大きく成長してくださいね。(近藤)



実際にチャペルで使用されていた幸せの鐘



タイトル/金子すみれ

No.53 ふくいの森

町内にこんな素敵な景色があることをご存知でしょうか? 福井区にある福井神

社の目の前に広がる光景です。一面の蕎麦畑と、天気の良い日には飯縄山も望むことができます。

神社を利用する機会が減つてしまつて寂しいことを寂しく感じていた方が「神社に人を呼び込みたい」との思いから設置したものだそうです。

驚くことに、設置されているこの鐘はチャペルで実際に使用され、多くの新郎新婦が結婚式の際に鳴らしていたものだそうです。

一説には、鐘を鳴らすことで「邪気や災難を祓い、幸せを呼び込む」とあります。鐘をついて気分をスッキリさせてみてはいかがですか? なお、福井神社へ行く際は、幅の狭い道路を通りますので車の選択にご注意ください。

(木賀田)

いづな時空散歩

Vol.4

妙高火山群と飯綱町

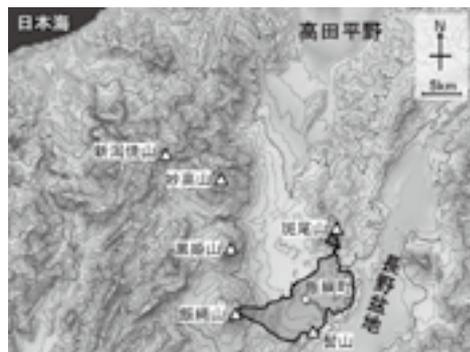
飯綱町は火山の町です。「火山」は地下からやってきた熱いマグマが地表近くにつくる特別な地形のことです。長野県と新潟県の信越国境付近には、兄弟のように生まれた火山が密集しており、それらをまとめて「妙高火山群」と呼びます。中でもひとときを引くのが飯綱―黒姫―妙高の3火山です。3火山は約8kmの間隔で、南北にほぼ活動順にきれいに並びます(下図を参照)。飯綱山の北東には、他の火山よりも侵食が進んだ(それだけ古い)斑尾火山があり、活動の始まりは約70万年前にさかのぼり、30万年前頃には活動を止めたと考えられています。一方、妙高山の北西にはごく最近(約3000年前)生まれた

ばかりの新潟焼山があります。全体を見ると、火山活動が南東から北西へと徐々に移動していることがわかり、今活動の最前線が妙高山と焼山の2つの活火山に達しているように見えます。

飯綱町と長野市の境には髭山があります。明瞭な火山地形は残っていませんが、これも妙高火山群の仲間です。火山に囲まれた飯綱町は、内陸から日本海側に向かって拡大する妙高火山群の玄関口といってもよいでしょう。

ここは火山の町。納得していただけましたか？

(いづな歴史ふれあい館長 富樫均)



飯綱町と妙高火山群(カシミール3Dで作図、等高線は100m間隔)

シリーズ人権ねがい

90

今年、新型コロナウイルスの感染症拡大防止のため、秋祭りの笛や太鼓の音もせず、花火も中止になって、なんだか淋しさを感じている今日此頃です。また、身近な公民館活動や各種イベント、講演会なども中止が続いて外出することも少なく、家に閉じこもりがちになってしまっています。

ニュースからは、医療従事者の人

新たな日常へ

たちやその家族への誹謗中傷や、コロナに感染して

しまった人々への偏見や差別、DVや子どもへの虐待も多くなっていること、職を失ってしまう人が多数いること、鬱になってしまいう人も増えているなど、嫌な暗い話が聞こえてきて、悲しい気持ちになります。

コロナがもたらす不安や恐怖から、人の心は揺れ

動き変わってしまうのでしょうか?こんな時だからこそ助け合い、支え合って思いやりの心を持ちたいものです。人とのつながりやコミュニケーションをとることはとても大事だと思っています。

近頃は経済活動も始まり、GoToトラベルなど色々なサービスを付けて活動しましょうというのですが、恐怖心がありそのような気持ちになかなかできません。目には見えない菌への不安は付きまっています。不安を払拭するためにはやはり、予防のワクチンや治療薬が開発されなければなりません。多くの国で研究されていて、徐々に開発されるようですが、まだまだ未知の部分があるよう

うで心配です。

安心してマスクを外し、行動できる日はいつくるのでしょうか?と思う日々ですが、まだ何も見えてきません。今は感染予防するための実践をして、皆で支え合いながら乗り切っていくしかありません。新たな日常は当然続くのですから。

(社会教育委員 金井かつ子)

これは、どこから撮った写真でしょう。

ヒント 飯綱町の端っこです。



ど〜こだ!?

89号「ど〜こだ!?」答え

北信五岳道路 倉井大原付近



飯綱歴史ヒストリア

前編

文・小山丈夫 絵・小林浩道

『目に見えない敵』
感染症との
関わりの歴史を
飯綱町の痕跡から
見てゆきましょう



『密集した場所に、何か』が
持ち込まれると
疫病（感染症・伝染病）が流行る』
ことは太古の昔から経験上知られて
いました
医学が未発達の時
代
人々は『疫病除け』を祈ることが
安心を得るため
になにより
大切なこと
でした



四〇〇年前からの宿場町
「北国街道牟礼宿」では
町の中心部にまつられた
のは疫病除けの神「祇園社
（八坂神社）」でした
現在は牟礼養蚕神社に
合祀されています



今年も七月十二日に祇園祭
の神事が行われましたが
『はやりやまい除け』の
祝詞が特別に奉げられた
このことです（近藤宮司談）

黒船来航で開国した日本では
開国直後の一八五八年（安政五）
から外国船を発生源としてコレラ
が流行しました
江戸だけで二十数万人の死者が
出たといわれています
外国からきた病気は『攘夷（外国
を排斥する）』思想に拍車を
かけ 明治維新への一因に
なったといわれます



普光寺の普光峻徳神社に
『奉再建疫癘除 安政六年未九月』
と記された石祠があります
疫癘（疫病）除けの神をまつったものです
飯綱町でのコレラ被害の実態は
明らかではありませんが
江戸での流行に当地の人々も
敏感になり、安心を祈りに
託していたのです



後編につづく

第16回元日ジョギング大会のお知らせ

飯綱町公民館では恒例の元日ジョギング大会を開催します。当日は、福袋抽選会も用意して皆様のご参加をお待ちしています。
※なお、新型コロナウイルスの感染状況によっては中止になる場合があります。

日時 令和3年1月1日(金)午前10時開会
会場 北信五岳道路 倉井チエーン脱着所(直売所さんちゃん前)
競技種目 4・4キロランニング、2・2キロランニング・ウォーキング
参加費 無料(ごなたでもご参加ください)
問合せ 飯綱町三水B&G海洋センター TEL2533-8951

第14回みんなのスポーツ大会

日時 12月6日(日)午前8時30分開会
会場 三水B&G海洋センター体育館
競技種目 レクリエーションバレー
参加費 無料
申込方法 小学生以上で1チーム3名以上8名以内(男女問わず)
募集数 先着16チーム
締切日 11月27日(金)
問合せ いづなスポーツクラブ TEL2533-8951

2020 図書館まつり

期間 11月8日(日)～11月15日(日)
会場 飯綱町民会館
今年の図書館まつりは新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一度に人を集めるイベントは行いませんが、期間中は来館者のみなさんに楽しんでいただける企画をご用意してお待ちしています。是非足をお運びいただき、いろいろな本に触れてみてください。なお、イベントの詳細につきましては、今月配布のチラシをご覧ください。

企画展示

- 場所 2階 視聴覚室
- ・みんなのおすすめ本コーナー
 - ・俳句と川柳
 - ・誰にも読まれていない本コーナー
 - その他
 - ・本の福袋
 - ・ブックコートサービス
 - ・読書ノートプレゼント
 - ・福引大抽選会(期間中図書館で本を借りると福引が引けます。ハズレなし)

ブックリユース(古本世)

11月8日(日)～11月15日(日)
場所 1階 ロビー

自分のお気に入りの本を見つけて、自由に持ち帰りください。
問合せ 飯綱町民会館 TEL2533-6560



中学校図書館新着本

○俺の残機を投下します

山田悠介

○ニキ

夏木志朋

○ワイルドサイドをほつつき歩け

ブレイドみかこ

○楽園の鳥

阿部智里

○自転しながら公転する

山本文緒

○心淋し川

西條奈加

○盤上に君はもつけない

綾崎 隼

○震雷の人

千葉ともこ

○帝都争乱

今野 敏

○始まりの木

夏川草介

○ムシカ

井上真偽

○数学者の夏

藤本ひとみ

○ネヴァー・ゲーム

ジェフリー・ディーヴァー

○世界で最も危険な男

メアリー・トランプ

○データでわかる2030

夫馬賢治

○何のために本を読むのか

齋藤 孝

○データ農業が日本を救う

窪田新之助

公民館図書新着本

■一般図書

★はじめてでもかんたん！おしゃれ！ DIY家具&リフォーム
ケイ・ライターズクラブ編



今、素人が自分で作ったり、修繕したりするDIYがブーム

になっています。こちらの本は、

キッチンワゴンなどの家具や小

物の紹介と、100均アイテム

を使ったリメイク作品を紹介し

ています。それぞれに豊富な写

真と説明で、工程がよくわかり

ますので初心者でも作れます。

また、巻末には、専門用語や

材料の説明などが掲載されてい

ますので参考にしてください。

○初夏の訪問者 吉永南央

○エンド・オブ・ライブ 佐々涼子

○海蝶 吉川英梨

○武漢日記 方方

○70歳のたしなみ 坂東眞理子

○片付けでときめく働き方を手に入れる 近藤麻理恵

○スマホを捨てたい子どもたち 山極寿一

■児童図書・絵本

○ふーってして

○むれ

○ベッドのなかはきょうりゅうのくに

○やとのいえ

○やさいでべったん

○ミシンなしでかんたん！季節のごとも手芸

○科学でナゾとき！あさだりん

○はりねずみともぐらのふうせりよにっ

○アリンソン・アトニー

○へんななまえのもの事典

グラフィオ著

この他、随時新着図書が入っていますので、中学校図書館・公民館図書室へお出かけください。

北信濃ミニバスケットボール 交流大会開催



8月23日(日)、飯綱中学校及び牟礼小学校体育館をお借りし、北信濃ミニバスケットボール交流大会を開催しました。コロナ禍ということもあり会場を分散しての開催のため、飯綱町でも2会場に分かれ、午前と午後それぞれ各会場3~4チームでの開催となりました。入り口で検温をし会場の換気に努めるなどの感染対策をしながら大会開催の方法を検討し、会場設営を進めた保護者、役員の皆様は大変だったと思います。子どもたちは色々な大会が中止になってしまっている今、例年とは違う大会風景ではありますが、試合ができることはうれしかったのではないのでしょうか。

練習の成果を発揮して



FCイヅナU15の所属する「高円宮杯JFAU15サッカーリーグ2020長野北信3部A」の試合が、9月12日(土)に飯綱町ふれあいパーク運動場にて開催されました。FCイヅナが会場当番でしたが長野県内の感染レベルに鑑み、今回は無観客での開催となりました。リーグ戦の開始が7月まで延期になりようやく開催されたと思ったら、再び延期と今年度は例年の半分以下の試合数となってしまいました。それでも子どもたちにとっては試合ができることのほうが大きいようです。ボールを追ってグラウンド内を走り回る姿は生き生きとしていました。

北信軟式少年野球大会開催される

10月3日(土)・4日(日)、飯綱町ふれあいパーク運動場・野球場にて北信軟式少年野球大会が開催されました。近隣の市町村より集まった16チームの選手たちが元気よくグラウンドでボールを追っていました。選手宣誓は飯綱ドリームズの久保田悟主将が行いました。新型コロナウイルスに負けず元気に試合をする旨の宣誓は力強いものでした。始球式はピッチャー、峯村町長、バッター、馬島教育長、キャッチャーはドリームズの監督瀧澤氏で行われ、見事なストライクで歓声上がるほどでした。



大会開催にあたり検温所を設け、応援に来た方たちまでも検温し、各ベンチには消毒液を置き、選手で共用する道具などはこまめに消毒するなど、今年は大会開催において例年のないほど神経を使い大会役員の方たちも安全な運営をすることに努めていました。保護者の方たちの協力もあり、盛況なうちに大会を終えることができました。

スポーツ協会 試合結果

■子どもの部

第47回カルチェ杯争奪少年軟式野球大会

期日 9月5日(土)・6日(日)

会場 古里公園野球場

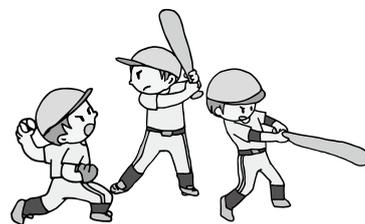
3位 飯綱ドリームズ

上水内郡軟式少年野球秋季大会

期日 9月12日(土)

会場 ふれあいパーク野球場

準優勝 飯綱ドリームズ



アルバムから
こんにちには89

陸上競技大会優勝

寺島康夫さん(横手)

こちらの写真は、昭和25年高岡村青年団で行われた陸上競技、横手地区優勝の記念写真です。10集落対抗陸上競技では、1000m・2000m走、砲丸槍投げ、男女リレーなどの種目で旧牟礼西小学校の校庭を会場として競われました。



横手のゼッケンをつけて、優勝記念撮影(最前列左から2人目が寺島さん)

「入団して初めての大会で1500m走に出場した。長い距離を走るのは苦しかったが、完走して1点取った。総合結果では、1点差で横手が優勝した。仲間が活躍する中で、自分も優勝に貢献できた喜びは大きかった」とお話ししてくださいました。いつの時代も仲間と力を合わせることは素敵だと思いました。

(中村水)

「俳句」

(飯網俳友会)

鬼やんま眼前すいと通り過ぐ

小林 寒鳥

夕あきつ光の中をひとり旅

前野 泉

何語る昔庄屋に金木犀

名古 どの

赤飯を頬張る児等や秋祭り

田宮 秀英

夕暮れや芒の踊る風の道

龍野 由子

秋時雨しとどに濡れし地藏かな

東 奈々子

黒雲を供に引き連れ雷きたる

泉井 清泉

語ることつきぬ夕べや秋彼岸

荒川しげの

出来栄えに感謝で送る落水水

中嶋 良秋

鈴虫に耳をとられて夢の中

仲俣 一重

「短歌」

白菜の葉を食い荒らし虫たちは

ごちそう様と言わずに去れり

坂井 寿男

百日草秋陽に映えて伸びのびと

揚げ羽蝶ちよは群れてランデブー

武田タヅ子

縁側で夫の呼ぶ声聞こえけり

中秋の名月夜空に浮かぶ

町田智頭子

捨ておきしきゅうり芽を出し実りたり

味よし甘くジュシーなりし

井澤喜世恵

道人ほ

先日、牟礼小学校の運動会に行ってきました。かれこれ10年以上参加してきましたが、今回の運動会は今までとは違うものとなりました。先ずは、団体競技がほとんどありませんでした。騎馬戦、玉入れ、竹引き、組体操(皆で繰り出す技、大人の綱引きなどはなく、短縮プログラムのためお弁当の時間もありませんでした。お弁当があっても、子どもたちは教室に入って食べるので、昔ながらの親子で一緒に食べたり、仲の良い家族と一緒に食べる、という訳ではありません。仲の良い家族と一緒が、仲の良い他の家族と一緒に外でお弁当を広げて食べることの出来る貴重な、楽しい時間です。それがなかったことは、

(速水)

～牟礼小学校作品紹介～



「わたしの
あさがおさん」
山崎 夢佳さん(1年1組)



「あさがお
ゆうえんち」
飯島 佑佳さん(1年2組)



「カラフルなカメレオン」
中川 光さん(2年1組)



「さんみつにならないうように
しよう」
近藤 奈央さん(2年2組)



「夏の虫(鉛筆立て)」
高橋 虎太郎さん(3年1組)



「野菜畑(鉛筆立て)」
小林 晴さん(3年2組)



「毛筆『麦』」
吉原 心音さん(4年1組)



「コロコロガール」
山邊 華菜子さん(4年2組)



「まめねこ(クリップ)」
西澤 葉月さん(5年1組)



「手作り伝言板」
渡邊 翠さん(5年2組)



「トートバッグ」
梨本 あかりさん(6年1組)



「残雪(木版画)」
飯田 菜さん(6年2組)